

8月
26日 ~ 9月
15日

17年に1度の御開帳

～西條勝軍延命地蔵尊御開帳～

10の御利益があるとされ、17年に1度の御開帳が行われた西條町の勝軍延命地蔵大菩薩。8月26日から9月15日まで御開帳されました。8月26日の初開帳では読経後、厨子の扉が開かれ、地蔵大菩薩と町内に張り巡らされた「善の綱」が結ばれました。9月2日には中開帳として「おねり」が行われ、役員や来賓、二十五菩薩に続いて約250人の稚児が町内を練り歩きました。途中、二十五菩薩に頭を撫でられ御利益を得ようと多くの方が沿道で頭を下げました。

おねり後は大法要につづき、餅投げが行われました。稚児行列に参加した子どもも加わり大変なにぎわいとなりました。

この勝軍延命地蔵大菩薩の地蔵堂では毎年2月に餅投げが行われます。



10月
7日 みんなが暮らすあいさい
～福祉まつり・愛西の里まつり～

ポカポカの晴天に恵まれ、市社会福祉協議会福祉まつり、愛西の里まつりが開催されました。

開会式では、日永市長が自己紹介を手話で挨拶をし、会場内から、拍手喝采でした。

立田体育館、愛西の里たつた、外会場の3会場をスタンプラリーでまわり、ライブパフォーマンスやそれぞれのブースで、体験や遊びができるようになっており、老若男女問わず参加した皆さんは、楽しみながら福祉に触れ学ぶことのできる1日になりました。



10月
6日 鈴木家住宅特別公開

明治時代から昭和前期にかけて政治家として活躍した鈴木仙太郎。鈴木仙太郎が家督相続後に建築した国の登録有形文化財「鈴木家住宅」が特別公開されました。

鈴木家住宅は明治から昭和にかけて建築された5つの建築物から成り立っています。1890(明治23)年に建てられた主屋など普段は見学することができないため、訪れた方々は仏間や2階の18畳の座敷などを興味深く見学されていました。

また、米蔵では鈴木仙太郎と妻の良子に関するミニ展示も行われました。

